

【評価実施概要】

事業所番号	0174700831		
法人名	特定非営利活動法人 いけだケアセンター		
事業所名	グループホームのどか		
所在地	〒083-0031 中川郡池田町字利別西町21番6 (電話)015-572-4282		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061 札幌市中央区南1条5丁目7 愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年10月30日	評価確定日	平成20年12月3日

【情報提供票より】(H20年10月1日 記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 5月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 5人, 非常勤 2人, 常勤換算	6人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建の	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	10,000~13,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	2	要介護2	3			
要介護3	2	要介護4	1			
要介護5	1	要支援2	0			
年齢	平均	歳	最低	歳	最高	歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田町立病院 大熊歯科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

長年施設介護に携わった管理者が、家庭的な環境の中できめ細かい介護をすることを目的として立ち上げたホームは、大まかな食事の時間の目安以外には日課などもなく利用者の生活のペースが大切にされ、毎日の散歩などの外出や“のどか合唱団”などの楽しみごとが最大限行われるよう配慮されている。建物は木をふんだんに使いシックハウス症候群にも配慮されており掃除も行き届いている。暖かいうちは玄関が開け放たれ、立ち寄りやすさや換気にも配慮されている。地域との連携も図られ運営推進会議では町内の方たちが積極的に災害対策にかかわってくださっている。また、畑でとれた野菜や花を持って来てくださる方がいらっしゃるほか、目の前にある小学校との交流も行われている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では、災害対策で地域住民参加の下での訓練実施が期待されていた。前回の避難訓練では運営推進会議のメンバーの見学後、今後の町内会の協力体制等についての話し合いも行われ、ホーム前の小学校を一時避難場所として使わせてもらえることにもなっている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価表を全員に配り記入してもらっている。特に問題となる点をあげてもらおうようにして集約をしている。それぞれの項目について話し合いも行って改善につなげようとしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	包括支援センター職員、町内会役員、民生委員、ご家族代表、管理者及び職員などが参加し行われて活発な意見交換が行われている。町内からも熱心な働きかけがあり、災害対策等について具体的な取り決め等を行っている。回数を重ね、認知症に対する理解も深まっている。外部評価の結果等についても会議の中で報告している。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月、普段の様子を手書きのお便りにしてご家族宛てに書き、「のどかだより」や写真と共に送っている。健康状態や特変があった場合は面会時や電話などに直接話すようにしている。報告時にはご家族にご意見苦情等を問いかけ話してもらいやすいようにしている。重要事項説明書には内外の苦情相談窓口を明記している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	2か月に1回ホーム周辺の方たちに「のどかだより」を配布している。運営推進会議を通じて町内会長さんのご協力のもと、防災計画表、昼夜の連絡体制の組織図を作成することになっている。町内会に加入し地域行事にも積極的に参加している。ホーム向かいの小学校行事にも招かれ参加したり、利用者が作成したぞうきを寄贈するなどしている。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>事業所独自の理念をつくり、地域の中で一緒に楽しく普通の生活を送ることができるよう支援されている。</p>		
2	2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念は介護の根本になるものとして朝、唱和するほか、折に触れて理念に基づいた介護について話をしている。年に1回は勉強会を行っている。</p>		
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>2か月に1回ほど「のどかだより」をホーム周辺のご家庭に配布している。地域の方々が畑で採れた野菜やお花を持ってきておしゃべりをしていただくさったり、向かいの小学校の子供達との交流もでき、地域の行事にも積極的に参加している。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価は、職員全員に配り書いてもらってから集約し話し合っている。できあがった評価表は従業者の目に届くところに置き、改善が図られるようにしている。外部評価は町とご家族には手渡しまたは送付し、運営推進会議でも報告をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の方たちからの積極的な働きかけがあり、災害対策などにも取り組んでいる。具体的に何ができるのか話し合わせ、サービスの向上に活かされている。回数を重ね認知症についての理解も深まってきている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に担当者に参加してもらっているほか、在宅ケア会議にも出席している。キャラバンメイトの講師なども務めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月一人ひとりに手書きのお便りを書き、日常の様子をお伝えしている。ホームからのお便りを親戚等にファックスで送ってくださっているご家族もいる。健康状態や特別のことがあった時には電話などでもお伝えしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>毎月のお便りや来訪時にもご意見を聞かせていただけるよう努めている。運営推進会議にもご家族代表に出席していただき、様々なご意見を運営に反映させるようにしている。重要事項説明書には内外の苦情相談窓口を明記している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員に引き継ぎやホームの様子をできる限り見てもらい、スタッフや利用者にも新しい職員を見てもらえる機会をつくるなどしながら関係づくりをはじめ、利用者の特性を考えながら心理的な負担にならないよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>近郊はもちろん札幌で行われる研修などにも参加し、詳細な研修報告書を作り、伝達研修を行っている。内部では管理者からだけでなくテーマを決め、職員が持ち回りで勉強をして研修を行っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームから利用者を連れて出かけてきてもらったり、こちらから出かけていくなどしながら交流を重ねている。グループホーム協議会の研修後の懇親会等にも参加して交流ができるようにしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居希望の方には見学に来ていただきお茶やおやつと一緒に食べながらおしゃべりなどを楽しみ、他の利用者や職員と顔見知りになってもらえるようにしている。何度か通って来られる方もおり、徐々になじめるようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>野菜の種や苗の植え方、育て方などを教えていただいたり、食事の味付け、野菜の切り方、盛りつけのしかたなどを教えていただきながら食事の用意をするなど本人から学んだり、支え合う関係ができています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>自宅にものを取りに帰りたい、買い物がしたい、外食をしたいなど行きたい場所にお連れしたり食べたいものなどご希望を聞きながら支援をしている。センター方式を導入しアセスメントを行っている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族の訪問時などに介護計画についてのご意見をうかがっている。日常のかかわりの中でご本人のご意見も聞きながら介護支援専門員を中心に職員全員で話し合いながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的には3か月に1回介護計画の見直しを行っているが、入院後などそれまでの介護計画では対応できないと判断された場合には定期的見直しを待たず、必要な方たちと話し合いながら新しい計画を作成している。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>温泉への一泊旅行や日帰り入浴、美術館やコンサート、お花を見に行くなど利用者の希望などに応じて柔軟な支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居以前からのかかりつけ医にかかっている。医師は利用者、家族、ホーム職員とも顔見知りであり良好な関係を築きながら適切な医療が受けられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>現在のところ町内では24時間態勢の医療連携は難しく、終末期に向けた取り組みは行っていない。</p>		<p>今後、看護師との契約ができないか検討をしている。重度化、急変に対応できるよう本人やご家族の意向の把握ができるよう期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>排泄や入浴時にはプライバシーに配慮し、小さな声で言葉かけをすることなどを徹底している。研修も行い、個人の記録には他の利用者の名前はイニシャルで載せるようにしている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事時間はできたものを暖かいうちに食べてもらえるようにはしているが、それ以外は決めず、それぞれのペースで過ごしてもらえるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみなものになるようメニューも利用者と一緒に決めていく。食事の味付けなどは教えてもらいながら行い、配膳、片付けなども一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日は基本的には決まっているが、必要な場合には対応をしている。現在は夜間入浴の希望がないため午後からの入浴となっているが時間は夜間も含め希望を聞いて決めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	散歩や運動は毎日行っている。ホームの買い物などにも一緒に出かけてもらうなど外出の機会も多い。歌は皆が好きで合唱団を作り毎日歌っている。畑仕事や趣味、毎日の食事の支度や片付けなど張り合いのある生活をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	寒くなっても毎日散歩に出かけている。それ以外にも一人ひとりの希望に添って買い物、ドライブ、コンサート、美術館、外食、温泉など出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間以外は解錠している。閉じこもらない生活、外の方たちの訪ねて来やすさ、換気などを考え暖かい季節は玄関を開け放している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て避難訓練を行っている。運営推進会議を通して地域の方たちが災害時に協力をしてくださる体制ができあがってきている。一時避難場所も目の前の小学校にお願いできるようになっている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>栄養、水分共に目標がある。介護計画にも目標が記載されている。水分量についてはチェック表があり、モニタリングされている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>シックハウス症候群にも配慮されたホーム内部は木がふんだんに使われ、窓・玄関などは換気もかねて開け放たれている。場所間違い防止にはのれんをかけて家庭的な雰囲気を壊さないように配慮され、時に応じて季節の飾りが飾られている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室にはご家族の写真や家庭から持ち込まれたタンスなどの収納、ご家族の写真、表彰状、飾り物などが置かれ落ちつける空間となっている。</p>		

 は、重点項目。